

令和5年第10回女川町教育委員会会議録

- 1 招集月日 令和5年10月27日(金)
- 2 招集場所 女川小・中学校 2階 会議室
- 3 出席委員等
1番 横井一彦 委員
2番 新福悦郎 委員
3番 中村たみ子 委員
4番 山内哲哉 委員
平塚 隆 教育長
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席したもの
教育局 局長 阿部 恵
教育局 参事 千葉 英貴
教育局 次長兼指導主事 田中 浩司
教育局 次長 中嶋 憲治
教育局 教育指導員 坂本 忠厚
- 6 本委員会の書記
参事 千葉 英貴
- 7 開 会
教育長 午前10時00分
それでは、令和5年第10回女川町教育委員会を開会します。
- 8 会期の決定
教育長 会期は、本日1日限りといたします。
- 9 前回会議録の承認
教育長 はじめに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。
すでに配付されておりますが、委員の皆様方何かお気づきの点
はありませんでしょうか。
無いようですので、承認とさせていただきます。
- 10 会議録署名委員の指名
教育長 2番 新福 悦郎 委員
3番 中村 たみ子 委員
よろしく願いいたします。
- 11 報告事項
教育長 次に、5番「報告事項」に入らせていただきます。
はじめに、私からご報告いたします。
レジュメをご覧ください。
改めまして、皆様、おはようございます。
ここ女川の地も日に日に紅葉が進んできたかな、やっとな秋色に
染まってきたかなと感じているところでもあります。というか、夏

から一気に冬になってきたなと感じることもあるぐらい、秋が短いなというふうに感じています。

本日は、学校での開催ということで、主に中学校の授業を参観して、おいしい給食を味わっていただきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

レジュメに書かせていただいたのですが、本町におきましてもいよいよ出島架橋の橋体架設工事が本格化しまして、11月1日、2日あたりにはガチャンとドッキングして、橋が架かることとなります。開通に関しては、1年くらいかけて整備をして、来年の12月。女川の方々にとっては、長年というか、何十年の大願が果たされる時がきているのだなど。

今日もご覧になったかと思うのですが、日本一のクレーン船、ものすごく大きいですね。私も1回だけ朝に行って下から見たのですが、びっくりするぐらいの大きさと、本当にすごいなというふうに思いました。

来る時も、ちょうど江島の方から来たのです。教育長室から見れるので見ていたのですが、クレーンだけが山の上であって、入って来る。テレビ、マスコミ等でも紹介されてご存知かと思うのですが、ぜひ、今日終わったら、もう一回眺めてみていただきたいと思います。

本土側の方は終わっています。今日明日ですか、島側に付けて、最後、真ん中を持って行ってガチャンと付けるという工程かと思しますので、よろしく願いします。

それから、あさっての10月29日（日）におながわ秋の収穫祭があって、さらに11月5日（日）には町民文化祭が開催されるというところで、バタバタ動いているという状況であります。小・中学校におきましては、10月21日（土）の中学校の文化祭が終わって、明日が小学校の文化祭です。

文化祭の終了で学校行事も一区切りかなというふうに思っていて、11月に入ったら学力向上に向けて地に足を着けて授業づくりに頑張りたいと思っています。

それでは、レジュメに沿ってお話をさせていただきたいと思えます。

まず、学校関係です。

9月30日（土）、10月1日（日）、ぐずついた天気ではあったのですが、中学校の新人戦が全種目開催されました。

今年は、酷暑のために夏休み中の練習も大変だったろうと思っています。

結果については、レジュメに記載のとおりであります。

10月3日(火)、防犯ポスターコンクールの表彰式が行われました。

子供のキラッと光る感性の鋭さにびっくりされた、そんな作品も多かったです。

10月6日(金)、宮城県教員採用試験二次試験合格発表があつて、レジュメに記載のとおり、受験した全員がおかげさまで合格しました。

採用試験の総括という形で報告させていただきたいと思うのですが、今年度は、本校在任講師、それからゆかりの講師、合わせて全部で5名の講師が試験に挑みました。

内訳は、小学校講師が2名、中学校の保健体育講師が1名、高等学校の地歴を目指している先生が1名、そして養護講師1名であつて、結果として、養護講師以外全員合格したということになりました。

倍率につきましては、記載したとおりですが、特に養護教諭については本当に厳しい状況がこれからも続くのかなど。相当の覚悟を持って頑張つて欲しいと思つているところでもあります。

10月21日(土)、先程も申し上げましたが、中学校の文化祭でした。委員の皆様には、お忙しい中足を運んでいただきまして、ありがとうございました。

同じ会場で連続して小学生、中学生の演技を参観できるというのは、子供たちの成長を実感できていいなと改めて思つているところです。

特に、ずっと今まできていると思うのですが、第4学年の江島法印神楽、第5学年のさざなみ太鼓、それが中学校に入って潮騒太鼓や法印神楽の演舞として発展していきます。その流れとこののをぜひ今後も受け継いでいって欲しいと思つているところでもあります。

続いて、2ページ目の3、会議、研修、教育委員会関係です。

まず、10月8日(日)、コバルトーレ女川のホーム最終戦が行われて、見事勝利しました。

翌週行われた弘前市のチームとの最終戦、勝てばリーグ優勝というゲームだったのですが、残念ながら引き分けということで、弘前市のチームが優勝ということになりました。

コバルトーレ女川は、全国社会人サッカー選手権での戦い、J3、JFL昇格に向けて、これからが本当の勝負の時ですと書いたのですが、先日、残念ながらということで、1回戦は勝った

のですが、2回戦で敗れたという記事があつて、本年度のコバルトーレ女川の戦いは終結ということになり、次年度また応援していきたいと思つているところです。

10月9日(月)、本来なら女川町民運動会の予定でしたが、残念ながら参加希望者が少なく、代替行事として、スポーツレクリエーション祭を実施しました。

記載のとおり、町民のみならず、石巻市内からたくさんの子供たちも参加して汗を流していました。

また、コバルトーレ女川の選手の皆さんも一緒に参加していただいて、交流の場としては良かったかなというふうに思つているところでもあります。

町民運動会については、次年度以降、実施も含めて検討をしなければなりません。

これまでは区長さん方にもご協力いただいて、区民の皆様に対して積極的に参加するよう呼び掛けてもらうとともに、参加の取りまとめ等もお願いしてきました。しかしながら、区長さん方から負担だという声もたくさん届いたこともあつて、本年度は広く町全体に呼び掛けて、区長さん方に取りまとめをしてもらうという方法は取りませんでした。一度中断したものを復活させるというのは本当に大変なんだと改めて感じているところでもあります。

この件については、町民運動会の在り方も含めて、あとで委員の皆様方からもご意見を頂戴したく存じます。よろしく願い申し上げます。

10月12日(木)、大阪府寝屋川市議会の文教生活常任委員会の皆さんが小・中学校の視察に来られました。

次年度、施設一体型の小中一貫教育学校を1校区で開設する予定とのことで、お話を熱心に耳を傾けておられました。

10月25日(木)、老壮大学の閉講式を実施しました。

6月に開講してから5回講座を実施したのですが、毎回大人気で、たくさんの方々に参加してもらいました。今まで300人以上、昨年度より120人くらい多いんですね。皆勤賞の方も49名いらっしゃって、今年はすごいなと思つて、すごくうれしいですという話をさせていただきました。

先月実施したペンタンク大会でも同じことを感じたのですが、参加者の多さを見ても、女川はお年寄りが本当に元気な町だなと。ある意味そのパワーが町の活気につながっているのだろうなと思つているところです。それが子供たちに移ればいいなと

思っているのですが、なかなか。元気は元気なのですが、違った意味で元気な部分もあるので、今後、子供たちに伝えていきたいというふうに思っているところです。

その他については、1点であります。

11月6日(月)、本年度第2回目となる女川の教育を考える会を実施します。

以前から、そして先日の総合教育会議の中でも話をさせていただいたのですが、席上で次年度以降の部活動についても決定していきたいと思っているところであります。

5の女川小学校・女川中学校の行事予定を含めて、学校から上がってきたものについては、詳しいことについて後ほどの協議会の中でお話をさせていただきます。

結びになりますが、本当に早いと思うのですが、間もなく霜月、11月です。

先程も申し上げましたとおり、学校においては、いよいよ本格的に学習、学力向上、学級づくりをはじめとした集団づくりの見直しに努めてほしいと思っている時期であります。

今後も、学校、そして子供たちの学びを応援していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私からは、以上でございます。

続いて、教育局長から報告させます。

教育局長 それでは、学校教育関連からご報告させていただきます。

1、日程関係の実施済みにつきましては、割愛させていただきます。

実施予定のところからご覧いただきます。

(1)番、10月30日、来週月曜日ですが、東京都福生市議会総務文教委員会が学校視察を行います。

(2)番、通学路合同点検を10月31日(火)に実施いたします。警察、東部土木事務所、学校、建設課、教育局等で、会議室での会議をもった後に、場所を絞って、危険箇所がないかどうかという点検を合同で実施いたします。

(3)番、11月1日(水)になりますが、みやぎの里林業協働再生支援事業というのがございまして、産業振興課からお話をいただいたのですが、小学校第6学年が植樹を行うことになりました。小乗浜向地内の山の斜面に苗木を植えて、そこでみんなでお昼を食べて解散という流れになっております。

(4)番、町政功労者表彰式が11月3日(金・祝)午前10時から開催されます。

教育局関連では、社会教育委員を10年お務めいただいております。佐藤永子さんが被表彰者ということになっております。

(5)番、11月6日(月)、女川の教育を考える会の第2回目が午後3時から開催されます。

(6)番、11月7日(火)、第1回ブロック会議が石巻合同庁舎で開催されます。

(7)番、11月9日(木)から10日(金)にかけて、東北町村教育長連絡協議会の役員会が岩手県紫波町で開催されます。教育長が出席でございます。

2ページ目をお開き願います。

(8)番、11月13日(金)、宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇談会全体会議が午後1時30分から県庁で行われます。横井教育委員に出席をいただく予定となっております。よろしくお願いたします。

(9)番、来年小学校に入学する児童を対象に、就学時健康診断をご覧の3日間に分けて実施いたします。

(10)番、11月の教育委員会は24日(金)午前10時からで、前回開催時にご承認をいただいております。よろしくお願いたします。

(11)番、小学校第3学年を対象にした情報モラル学習を11月24日(金)に開催いたします。教育長もこちらの学習の状況をご覧になる予定でございます。

(12)番、要保護児童対策地域協議会代表者会議が11月24日(金)に開催される予定でございます。

(13)番、11月27日(月)、管内教育長会議が予定されております。

2番のその他でございます。

一般事項といたしまして、(1)県警から不審者情報が届いております。

(2)でございます。令和5年度の学習塾代等支援事業の9月30日現在の申請状況についてご報告いたします。

補助金交付額 11,559,896 円で、前年度と比較いたしまして1,100,000 円ほどの増でございます。

件数につきましては、ご覧の表のとおりでございます。

3ページ目をお開き願います。

(3)では、高等学校通学費等の補助金の申請状況について、同じく9月30日現在でご報告申し上げます。

申請件数につきましては、かっこ内が前年度ですが、前年度同

期と比べまして件数は少ない状況ですが、金額につきましては、220,000円ほど増加しています。補助の対象範囲を拡充したことが影響しております。

(4)は情報提供になります。女川町の来年度の奨学生募集を11月1日(水)から始めます。2回目の募集は、2月に予定しております。また、その他申請があれば、随時審査を行う予定で、選考委員会を開催させていただく予定でございます。

続きまして、4ページ目をお開きいただきます。

生涯学習関係でございます。

(2)の家読推進事業につきましては、ご覧のとおりの内容で、読み聞かせを10月に2回、11月は1回の予定でございます。

(3)の老壮大学につきましては、教育長からご報告いただきましたとおりでございます。

(4)出前講座につきましては、9月に1回、10月に2回実施しております。

(6)町民文化祭につきましては、11月5日(日)午前9時から開会式を行いまして、ご覧の内容で行われる予定でございます。最終は、11月12日(日)午前9時30分からステージ発表の場を設けております。

(7)石巻地区青年文化祭が11月19日(日)に予定されております。東松島市のコミュニティセンターを会場としております。5ページ目をお開きいただきます。

プラットフォーム事業の中の講師派遣事業でございます。9月から10月にかけて5回実施しております。

また、11月は、ご覧のとおり、中学校第1学年の職場体験学習、小学校第6学年のキャリアセミナー、小学校第2学年の焼き芋大会、小学校第3学年の情報モラル教室という内容で予定しております。

大項目2番の家庭教育支援でございます。

(1)「親子アドベンチャークラブ」、今年度最終回となりますが、11月24日(土)に三十三観音を巡るミニ登山を計画しております。

それから、おながわ放課後「楽校」につきましては、(1)特別講座をご覧のとおり、10月、11月にかけて実施、または実施予定としております。

(2)利用人数でございますが、一日平均53名ということで、大変にぎやかな中で開催されております。

その他の事業でございます。

(2) 図書まつりを 11 月 4 日（土）から開催いたします。

(3) の多読賞表彰でございますが、1 年間でつながる図書館の本を 200 冊以上借りた方を対象に表彰させていただいております。11 月 3 日（金）に表彰式を行います。小学生 8 名が表彰予定となっております。

6 ページ目をお開き願います。

ジュニア・リーダーの活動でございます。

10 月は定例会と、派遣予定がございましたが、雨天により中止ということになりました。

11 月 11 日（土）に、松島町のホテルで、東北地区子ども会連絡協議会表彰を女川町のジュニア・リーダーサークル「うみねこ」が表彰されるということで、高校生 4 名が参加する予定でございます。

体育振興関係についてご報告いたします。

(2) 10 月のイベントでございます。

先程のとおり、スポーツレクリエーション祭を 10 月 9 日（月・祝）に開催いたしました。

参加者は約 120 名ございまして、コバルトレー女川の選手が午前、午後に分かれて支援をしてくださいました。アスリートを身近で見る機会というのもなかなかなくて、スピードや持久力を間近に見るとのこと自体、参加して下さった方に、とても喜んでいただきました。会場を盛り上げていただきました。

試合の結果については、ご覧のとおりでございます。

11 月のイベントでございます。

①に書きました、宮城県学年別柔道チャンピオン大会が 11 月 19 日（日）に開催されます。

この際に、ソウルオリンピック柔道の銅メダリスト山口香さんがいらっしゃって、大会終了後に講演会を開催する予定になっております。

11 月のその他の大会については、ご覧のとおりでございます。最後に、施設の整備状況を申し上げます。

第二多目的運動場の防水工事に関しましては、9 月末で 92.2% の実施とあります。10 月も間もなく終わるところで、順調でございまして、今月中に完成検査も行われるという状況でございます。

第二多目的運動場のトイレの改修工事につきましては、山裕設備工業と契約を交わしまして、令和 6 年 2 月 29 日を工期として、今工事が進められているというところでございます。

- 以上、私からの報告でございました。
- 教育長 報告は以上となりますが、委員の皆さん、ただ今の報告事項について何かご質問、ご意見はありませんか。
- では私から、先程申し上げましたが、町民運動会の代替行事として行ったレクリエーション祭について、今報告があったとおり、非常にそれはそれでとても良かったなど。コバルトーレ女川の皆様にも来ていただいて、局長が今話しましたが、そんな感じだったんですね。それはそれでいいのだけれども、町民運動会をどうしようかなと思っているところです。
- 皆様、どうしたらいいかと。
- 私はもったいような気がしていて、今までの歴史がすごくあるわけじゃないですか。確かに震災前は、どこの地区でも地区民運動会というか、多分、女川ではそれを強くやっていたのだろうと。私は参加したことがないので聞いた話でしか分からないのですが、それこそ各地区で集まって、ハチマキを締めて絶対負けないとやってきたのだろうと。そういうすごくいい時代があって、震災から12年が過ぎて復活させようと思った時に、なかなか難しいという状況なのです。
- このまま町民運動会を違う形でもっていった方がいいのか、それとも、もちろん違う形でもっていかなければいけないのですが、昔みたいな形でもっていくというのは難しいかなと思いつつ、何かいいご意見をぜひお願いします。
- 横井委員 質問よろしいですか。先程、区長からなかなか難しいというお話があったということなのですが、区長会では、大半の意見が難しいということだったのですか。
- 中嶋次長 区長全員が全員そういうわけではないのですが、今までどおり地区の人たちを集めて参加しようという区長もいて、町民運動会をやらなければいけないという区長もいたのですが、やはり大半の方々は、また今年も頭を下げて集めてやらなければいけないのかというふうに思っている人たちもいて、どうすると。役員会に1回顔を出して、今年実施したいのですがご協力よろしくお願いしますという話をさせていただいたのですが、その前までは、新型コロナウイルス感染症でという理由があって。盛大にやっていいのかという話から、ではということですと5年間ですか、中止をさせていただきました。そこから教育長が言ったようにまた立ち上がるというのは、かなりおっくうになってきているのかなというところでございます。
- 一部の人は、いやいや、町民で盛り上がってやらなければなら

ないだろうという区長もいることはいます。全員が全員ではないのですが、ただ、負担に思っている区長の方が多かったということですね。

横井委員 区の役員会に出た時に、議題の中にはなかったのですが、町民運動会とは誰かが質問した時に、区では関係ないからという言い方を区長がされて、区のことではないからと終わって、その時ちょっと違和感を感じたのですが、やはり今までの経緯というのは、当然のように皆さん、私もそうだったのですが、役員が先程言ったみたいに頼んで歩くことが、そうでないと集まらないというか、そういう経緯もあったのですが、結局、いざ無理して集めても、やろうとした時には、無理して集められたというよりも、一時ワッと盛り上がって、良かったなみたいな感じにはなっていたのですが、当初から、今の倍くらいの人数がいた時から、人集めはとにかくどこでも多分苦労していた経緯というのはあるんですよね。

だから、今こういうふうに、震災後、ほとんど今までいたところではなくて、みんないろいろな違う場所に移って、その中で頼むと言った時のその頼むという相手が、知らない人が多くなっているというのは、区長にしてみたら、あるいは役員にしても、だいぶ負担にはなるだろうとは思いますが、いわゆる本来の女川町民運動会ということであれば、そこを越えないと多分なかなか、先程みたいな別なバージョンでのやり方はいろいろできると思うんですけど、区民という形で探してもらって、その中でいろいろやりながらまた親睦を深めるという方向だと、今みたいに、はいと手を挙げてくださと言われてると、やはりなかなか。なおさら、区長もそうですけど、皆さんも当然のように年齢が上がっているのも、昔を分かってやっていた人たちも、負担というか、体も気持ち的にも大変だろうというのは重々分かりますので、なかなかだからその辺がどういうふうに、何か機会をもって区長会とやり方だったり何かを1回2回と話したりする機会があってもいいのかなと。

そうでないと、急にこちらでやめますと言うと、教育委員会でやめたんだという言われ方と言うと変ですが、あの時もちらっと聞かれたのは、教育委員会で決めて、教育委員会で今回みたいな形になったんだという言い方をしていたので、あれという感じで。そうではないんだけど、言われ方によって、捉え方というか、そんなふうに聞こえてきたので、どうなのかなと違和感はそのときは感じました。

教育長 ありがとうございます。

新福委員 いかがですか。

新福委員 全国的に地域の運動会というのがどうなっているのかというのをまず一つ思うのですが、やはりどの自治体も町民を集めて運動会をするというのはかなり減ってきているのではないかなと。時代のすう勢ということもありますし、企業も昔はこういう運動会をやって、そして企業の中の仲間づくりみたいなことをやっていたんですが、それも全然やらない。やっている方が珍しいという時代ですし、やはり新たな発想が今求められてきているのかなと。そういう意味で私は、このスポーツレクリエーション祭というのは非常に面白いアイデアで、これを発展させることができないうのかなと私は考えるんです。

町民の健康づくりが基本的に一番の目標であるし、そここのところを考えると、自主的に意欲を持ってやっている人が集まって、その人たちが楽しめるスポーツイベントみたいなものが必要かなというふうに思います。

以前、私も町民運動会に2～3度参加しましたがけれども、競技に入っている時はそれぞれの地区が楽しそうにやっていたのですが、小学生も結構動員されていて、小学生が出るスポーツみたいなものが結構あって、私たちも出ましたけど、そういう中で、ちょっと今後どうなのかなという不安感はその時からありました。やはり、みんなきつそうな感じはあるなというのを感じていました。

以上です。

中村委員 今までのお話を伺っても、これまでと同じような町民運動会の形というのは難しいだろうというふうな気にはなりますね。だから、今後それをどのような形に変えて実施していくかというところを考えていく必要があるのだろうなと。

そのスポーツ関係のイベントにいかに参加者を多くして実施していくかとなった時は、行政区単位というのは、行政区長の取りまとめの苦勞もお伺いしましたけれども、難しいことだろうなと。だから何か、参加単位を行政区ではなくて、もう少し形を変えて、先程お話にもあったけど、企業で参加するとか、何か種目的なもので、参加しやすいとか参加したくなるような企画を今後考えていく必要があるのかな。具体的などころまでは考えが及ばないのですけれども、これまでと同じような従来の形の町民運動会の実施というのは、かなり厳しいだろうなというふうに考えますし、それでやっていくと無理感が生じてくるので

山内委員 はないのかなという気がいたします。

区長さん方の人集めの大変さ、温度感というのが正直はっきり分かっていないので、なかなか簡単なことも言えないなと思うのですけれども、ターゲットのところが、ある種、町民のお年寄りをメインに集めるというところなのか、全体的に集めるというところなのかもいろいろ変わってくるのかなと思いながら、いろいろお話を聞かせていただき、考えていたのですが、今、株式会社つなぐの原田さんがメインで、年1回、2回くらいですか、子供向けに、小学生の低学年よりも下の学年の子たちを集めながら運動会を開催していますが、あれは200人規模で人が集まったりしているので、そういう知恵とかももしあれだったらお借りして、外部の方々の考え方とか、どういうふうになんていうところを攻めながら、どういうアピールの仕方がいいのかみたいなのところというのもヒントになったりするのかなとちょっと思ったりはしました。

今までどおりの区長にだけというわけではないのでしょうけれども、頼るといっても、頼られる方も大変でしょうし、いろいろ問題があるのかなと思うと、新しい視点で後押ししていくというのはいい形かなというふうに思いました。

以上です。

教育長 事務局からいかがでしょう。ご意見いただいたのですが。

中嶋次長 前、体育振興の方におりまして、いろいろとやってきました。それで今年、横井委員からあったように、教育局で取りまとめて、区長にあまり頼らずにという方法を取らせていただきました。結果的にいろいろ町内から聞こえてきた声があります。

こちらから区長に負担をかけないようにと思ったのですが、負担をかけて欲しいという区長もいて、参加する人たちも、先程横井委員が言ったように、行ってしまえばすごく盛り上がるんですね。地区の人たちと顔を合わせながら参加すると、そこはそこで盛り上がるというところがあるので、痛しかゆしだなというところもあります。やり方的なところを、区長さんたちをもっと頼ってもいい部分とのせめぎ合いというのですか、横井委員が言ったように、区長さんたちとの会話というんですか、そこをもうちょっと進めなければならないのかなというところを今回にあたっては感じました。

区長さんたちも自分たちはどうしたらいいんだと窓口に来て、今回は教育委員会でまとめさせてもらいますという話をさせていただいたものの、いやいや、うちの区でまとめるからと。宮ヶ

崎地区は団結が固いので、あそこは区民に話して、じゃあみんなで行こうと言って集めてくれたりしたので、そういった地区もあることはあるので、どうかなと思いつつながら、やり方を考えなければならぬのかなというところでした。

横井委員

コミュニティの親睦とか何か今まで以上に、いろいろな人が同じ地区にいるといっても、交流のなかった人たちというのも何かの機会かというと、こういう形の時ぐらいしかない。

この間特に感じたのは、私も今いるところに引っ越してきた口なのですが、そのあと来られた方なども、今は、顔を合わせるんだけど、ちょっと会釈するのが限界という大変ですが、区でやったお祭りに私も最初は準備で参加していたのですが、あと途中で帰ったら、焼きそばを持って、これ作ったものだから食べてくださいと言って、次の時にこの間はありがとうございましたと言うと、そこで1回2回と会話が増えれば、その後もスムーズに挨拶したり立ち話をしたりとできるので、いわゆる町民運動会の目的からすると、そういった時の機会と一緒に何か競技したことで、また次につながっていけばいいのかなというそういうことなら、何となく、先程言われた山内委員の提案にあったような、別なグループでやっているようなものとかのお知恵を拝借するなり、あるいは区長さんたちの大変なんだと言いつつながらもどこか頼ってほしいという部分とかも合体させながらも、それなりのそれぞれがうちの区はと言えりするような感じでやっていくのも、要はなかなか時流的に難しい話なんですけれども、町民運動会としてどこかそういうものを残したいというのであれば、そういう大変さを無しにはなかなか難しいと思うので、いろいろと方法を考えてみてチャレンジするのも一つなのかなと思います。

中村委員

行政区単位の町民運動会、これまで行っていた町民運動会というのは、地域コミュニティを高めるといふか、強くする上ではすごくいい役割を果たしていたのだなというふうには感じているんですね。

ただ、そこに趣旨といふか目的を町民運動会に置くのかどうかというところですよ。もし地域コミュニティを強めるためという目的を、また別のイベントにお願いして、そちらで地域のコミュニティづくりをすれば、これまでの町民運動会とはまた別の形で、その趣旨をいかにどのような形にもっていつてそのスポーツ関係のイベントを設定するかというところの違いではないのかなというふうには感じているんですね。

だから、地域コミュニティを強めるために、その行政区に住んでいる人たちの絆を強めるためだというのであれば、行政区単位を無理してでも設定して、そしてやりながら強めていくということで町民運動会というものを活用すればいいとは思うのですけれども、ただ、それでいくと、今度スポーツイベントとしての趣旨とまた違うようになってくるので、そこが難しいというのであれば、やはり別な形に地域コミュニティづくりというものをもってくる。そしてまた、スポーツイベントはスポーツイベントとして、何かスポーツ関係の福祉的なもの据えて実施していくという形で仕方ないのかなというふうな気にもなります。

教育長 ありがとうございました。

いろいろな意味で、今までもずっといろいろもんできて、私は実際その場には入っていないくて、いろいろ話は聞いてきて、なかなか難しいなど。イメージとしては、本当に何もなければ震災前の、言葉は悪いかもしれないけれども、部落ごとの、人がいっぱいいて、部落対抗リレーとかやっていた頃のイメージでやってきたらいいなと思いつつ、なかなか難しい。そこはそこで、皆さんから今ご意見いただいたことをまとめて、もう少し事務局でもんでみたいと思いました。

ありがとうございました。

それでは、ほかに運動会以外で何かございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

12 その他

教育長 それでは、6番「その他」に入りたいと思います。

その他で何かございませんか。

(「ありません」の声あり)

教育長 それでは、「その他」についてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 それでは、来月の日程についてですが、前回の教育委員会であらかじめ決めておりましたので、11月24日金曜日、午前10時から。会場は、女川町生涯学習センター研修室2にて行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

なお、この場で12月の日程も調整をさせていただきたいと思います。

[12月22日(金)午前10時からということで調整]

教育長 それでは、12月の教育委員会は、12月22日金曜日、午前10時から女川町役場3階小会議室で行いたいと思いますので、委員の皆様、よろしく願いいたします。

13 閉 会

ほかにございませんか。
なければ、本日の教育委員会をこれで終了させていただきます。
午前 10 時 40 分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。


参事 千葉 英貴

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和 5 年 11 月 24 日

会議録署名委員

2 番委員

新福 悦郎 

3 番委員

中村 たみ子 